

# 幼稚園手技 (二)

東京女子高等師範學校保姆

及 川 ふ み

今年の四月から國民學校が實施せられて以來、我々保育界のものに一段と國民學校に對する關心が深められると同時に、幼稚園の保育自體についても大いに反省の好機を與へられたのはいふまでもない。

國民學校の新しい教育精神については、實施前すでにラジオ、新聞、講演等によつて周知の事であらうが、この國民學校の兒童の新しい學校生活の實際については我々保育者としては尙更に熟知しておきたいものである。しかしながら幼兒は寸時も難れておられない我々保姆の日常から考へて、國民學校の實地授業の參觀の時を得る事は容易の事であつて又度々許されるものでもない。たゞ初等科一二年生の實際授業は直接關係に最も我々の保育の上に近いものであるから是非とも參觀の時をつくつて實際保育の上の考資料にしなければならぬことである。

國民學校實施にともなつて、幼稚園としての幼兒の生活指導の全般については倉橋先生の昨年の夏期の講習に引きつゞき、本年の幼兒の教育誌上において、適切なる御指導

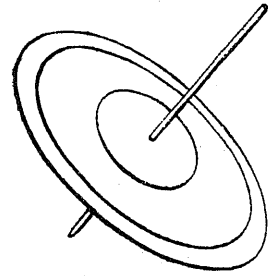
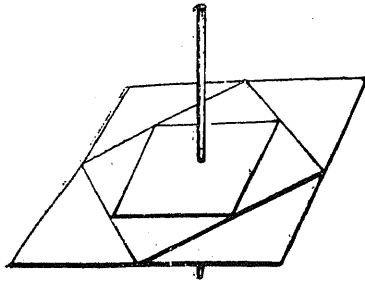
を仰ぎ、これによつて我々保育の實際にあたるものはその指針の、もこに細かく立案して新時代に即應する保育の道を進めなくてはならないのである。

尙この誌上に保育の各項目についてそれ／＼造詣深い各先生方の御高見を伺ふことによつて保育の實際指導の上一段の糧を得ることの出来る事は誠に斯道の爲同慶の至りである。たゞおこがましくも其の中に手技の一項をわけていたゞいた事は自分として誠に光榮なことであるがたゞ讀者の諸賢に對して御期待に添はれない事を豫めお許しをいたゞきたい。

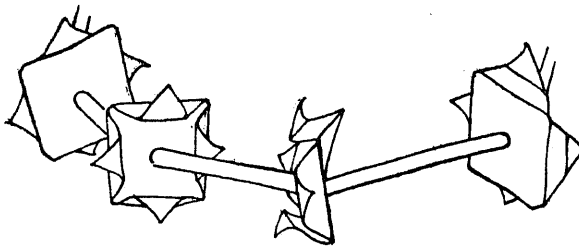
さて手技の實際指導についてこの際、切に痛感する事は一 簡單な方法によつて作られるもの

これが第一に強調したい事である。幼兒たちが出来るだけ自分自身の力だけでつくり上げられるもの

これは手技が、保育項目の多くが、外より與へられるものを受ける生活に對して、内より作り出す生活として尊重せられるところに生命があることを常に考へてゐなければ



ならない事である。この意味から云つても、大人が自分自身の満足する結果を、決して幼児に期待してはならない事である。つまり出来るだけ簡単なものを、ごままでも幼児自身を動かさせて作らせるのであるから、大人の満足出来ない場合も多々ある事である。これは一應當然の事として誰にも直ちにうなづかれる事



であるが、今尙保育の實際として保姆が幼児の作品の修正に多くの時間を費されるころもある様である。これは或は一つには習慣性にもなり、或は家庭(保護者)との關係もあつて容易に實行出来にくい向もあるかもしれないが、この點のみ慮つて幼児そのものゝ指導の方針を誤つてはならないのであるから、この實際保育の改新の好機に是非ごも實行されたいものである。

こゝに一言つけ加へておきたい事は、幼児の特技製作は本體としては幼児自身の手によつて作られるものであるが、こゝに幼児の欲求する製作品があつたとしても、幼児自身の力だけでは出来ない場合なご實際の幼稚園生活としてはしばしばある事である。かかる場合なご保姆の手傳の必要なことは當然すぎる事である。たゞ初めから幼児の興味を全々無關心な材料を、しかも程度の高いものを、ほんご保姆の手によつて修正さ

れてゆく位大きな徒勞はないと思はれる。

## 二 出来上つたもので遊べるもの

作りあげられたものをもつて遊びの中に役立たせられるものであつて、そこに始めて製作の喜びを味ふと同時に、その作り方の不備の點なきを見つけてつくり直す事によつて、一段の手技の價値が高められるのである。製作品を單に飾つておく事のみにならない様にありたいものである。

この二つが最も手技の材料として價値のあるなしを選ぶ大きな條件ともいふべきものである。

## 三 次に製作に必要な材料について

### 自然物使用

四季折々の草木の花、葉、莖、實等、これは地方地方によつて特種のもので材料とする事が出来て面白い

例へば園庭の一部に麥を植ゑて、幼児と共に培ひて、その麥わらの利用等、或は秋木々の實のおちる頃、さんぐり、梧桐の實なき拾ひ集めておいて材料にする等

### 物資厚生

空箱(木箱、紙箱)包紙、端書、水引、紐等

時局柄容易に得られるものを材料とする事に心がけておく事

次に實際的の材料を一二あげる事にする

## 類かざり

古はがき 二枚

水引 一本

麥ワラ 一本

古はがき縦一四センチのうち二センチ切り落して、残り  
を四つ折り(三センチづつ)にし、横三つ折り(三センチづつ)に折目をつけておく、これは保姆の方で用意する

折目のついた二枚のはがきをひろげて、一枚の片面だけ赤く、一枚の片面を黄色にぬる

この類かざり一本を作るのに數回に亘つて作り上げるさいふ事を最初から考へて作つてもらひたい。二枚のはがきを塗る事が一度の仕事の分量として充分である。従來製作の出来上りを急ぐせが幼児にも保姆にもあつた。急ぐ爲に製作の部分くが相末にさりあつかはれた。はがきの一枚や二枚をぬりつづすこは幼児の仕事としては容易なこさである。この容易なこさを丁寧にするところに價値のあるところを考へてもらひたい。

次に色の塗つてない側を見て、折目通り三センチ四方のもの一枚の端書から十二切りおさす。あの切りおさすのも折目に沿つて出来るだけ丁寧に切らせる。切りはなす事も一度か或は二度の仕事の分量に充分である。

次に三センチ四角のものを色の塗つた部分を内側になる様に、四つの角を中心へ折り、さらに外へ半分折りかへし

する。折目を充分つけてから外へ開く様にす。一度に三つ出来るか四つ出来るか幼児の程度に應じて花をつくらせるこよい。出来上つた花は大人の作るほき精確に出来ないがそれで結構で、一々折り直すなまきこいふ事はしないこまにする。花の中心には錐で穴をあけておく。

麥わらは一寸位の長さ切る。麥わらを切る前に少時間水にひたしておく。麥わらが割れなくてよい。

水引に花と麥わらをはるく、挿してゆく。この時、花の向を一つおきに挿す。裏表がなくてよい。

### はがきこま

挿圖の如く一枚の端書に七センチ四方、五センチ四方、三センチ半四方の四角を三枚まつて、大は黄、中は赤、小は黄といふ様に三枚の四角を一つおきに同じ色にクレヨンでぬつておく。

三枚切りはなして、大の上に中の四角對角線に貼つてゆく。中の上にさらに小の四角も亦對角線に貼る。今までも書用紙でこの種のこまは作つたこまがあるが端書を三枚重ねるまごころにこのこまの丈夫さが出来て、幼児がくりかへしく廻して遊ぶこまが出来るのである。中心に穴をあけて、ヒゴ或は小楊子をさしこむ。中心の穴は出来るだけ小さくあけて、さす棒がかたくさる様にす。

四角こまと同様の方法で、大中小の三枚の圓形を一枚の

はがきからまつて、二色或は三色に塗りわけて、三枚はり合せて作る。こまを丈夫にする爲に中心を三枚重ねるのであつて形や、色は各目に考へて作らせ、幼児を指導していただきたい。

### 幼稚園遊戯講習會

今夏の講習會に豫定されて居りました戸倉教授の幼稚園遊戯實習は、是非速かに受講したいといふ多数の御希望がありましたので、その御熱心に應じて左記の通り開催することに致しました。既に幼稚園が始まつて居る時でありますが特に休日を選びましたから、皆様お誘ひ合せ御來會を切望します。

一 講師 東京女子高等師範學校教授 戸倉ハル先生  
 一時 日 九月二十三日(秋季皇靈祭) 午前九時—午後四時まで

九月二十八日(日曜日) 右同

一 場所 東京女子高等師範學校體育館  
 一 會費 費 參 圓

一 申込期日 九月二十日 日本幼稚園協會宛

昭和十六年九月十五日

東京市小石川區大塚町三十五番地  
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會